

東京都

小平市

NPO法人スポーツカウンスル・ゲイン

予算額

12,573,002 円

地域課題解決に向けた取組

取組の名称	スポーツを通じた地域連携				
趣旨・目的	地域の小学校の施設を利用したタグラグビーやローンボウルズなどの教室を通じて、地域連携の更なる充実と子ども達の体力向上を目指す。				
内容	タグラグビー・ローンボウルズは月に1～2回、放課後は児童と先生、土曜日は一般の方も参加し行った。大人と子供混合、男女混合でチーム分けの対抗戦をした。				
対象者	子ども～高齢者	参加人数	30名	実施回数	9回
1 効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校と連携を取る事によって子供たちの参加効率を上げ、学校を拠点とする地域連携のベースを作れるようにした。 ・ 楽しみながら運動量を上げるプログラムを作成した。 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの地域連携に運動を共通項にする発想がなかったが、それが生まれた。 ・ 子ども達の運動に対する意識が向上した。 ・ 参加者の体力が向上した。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生や保護者などには運動を共通項にするための指導員がない。 ・ 時期が途中からなので、保護者や参加者にも戸惑いがあった。 ・ 単年度で終わってしまうので継続性が保てない。 				

小学校体育活動支援

派遣先学校総数	5 校
---------	-----

コーディネーター総数	5 名
------------	-----

◆効果を高めるための工夫や取組など

- ・ 子供たちの混乱を避ける為にコーディネーターという立場ではなく教員という立場をとった。
- ・ 今後の為にも授業を受持つのではなく、あくまでもサポートするという立場をとった。
- ・ 専門知識を持つ者の特性を生かしてコツや効果的な指導法を行っている。
- ・ 少しでも多くのクラスを受持つ事により児童だけでなく教員ともコミュニケーションをとった。

◆成果と課題

[成果]

- ・ 教員の体育への意識に変化があった。
- ・ サポートの教師がいる事により、今まで以上に授業に集中する事が出来た。
- ・ 児童の体育への取り組む意欲が変わった。
- ・ 今まで体育があまり好きではなかった児童の体育への興味も沸いた。
- ・ 授業へのサポートをする事により、学校全体の雰囲気が変わった。
- ・ コーディネーターが学校に入った事により他の教員が刺激を受けた。

[課題]

- ・ 委託事業の期間が短い。
- ・ いきなり始まった事業のため準備期間が十分ではなかった。
- ・ 年度の初めからいる事ができたらもっと効果的に活用できた。
- ・ 授業は1日6時間あるため、コーディネーターの制限が5時間というのは中途半端になる。

本事業全体の成果と課題

[成果]

- ・ 閉鎖的な学校との協力体制を構築する事ができた。
- ・ 学校や地域の考え方や知識に風穴を開ける事ができた。
- ・ 児童の体育や運動への意欲が増した。

[課題]

- ・ 単年度のため、せっかく構築した協力体制が中途半端なものになってしまう。
- ・ 単年度で終わってしまうと、子ども達が困惑してしまう。
- ・ 事業対象者に根付かすためには2年か3年繰りの時間が必要である。